

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2021年
12月号
Vol.68 No.800

巻頭言

のりこ
矩を踰えず 篠原健一

告 示

2022・2023年度代議員及び予備代議員の立候補受付について

会 告

2021年度城北支部研修会
第127回日暮里塾ワンコインセミナー

連 載

[消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ
第4回 注腸X線造影検査—炎症性疾患を中心に— 鵜沼清仁

研修会等申込書



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2021 DEC CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 矩を躓えず	3
告示1 2022・2023年度代議員及び予備代議員の立候補受付について	4
会告1 2021年度城北支部研修会	8
会告2 第127回日暮里塾ワンコインセミナー	9
会告3 第128回日暮里塾ワンコインセミナー	10
会告4 第19回ウインターセミナー	11
会告5 2021年度第1回災害対策研修会	12
会告6 第129回日暮里塾ワンコインセミナー	13
会告7 2021年アンケート調査「診療放射線技師法改正に関する意識調査」 ご協力をお願い	14
お知らせ1 2021年度第9地区研修会	15
お知らせ2 2021年度第12地区研修会	16
お知らせ3 2020年度新入会員に対する入会特典について	17
お知らせ4 東放技 Web開催研修会等受講方法について	18
お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内	20
連載 [消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ 第4回 注腸X線造影検査—炎症性疾患を中心に—	21
パイプライン ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.10)	27
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	28
2021年4月～10月期会員動向	29
2021年度第6回理事会報告	30
2021年東京放射線総目次	34
研修会等申込書	39

Column & Information

・学術講演会・研修会等の開催予定	33
・東放見聞録	38

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



のりこ 矩を踰えず

会長 篠原健一

この時期の巻頭言では、一年を振り返るといった内容から入ることが多い。今年はどうの、あるいは位置付けの年であったか。2年目となる新型コロナウイルス感染拡大による医療の逼迫や緊急事態宣言等さまざまな制限、制約については言うまでもない。医療従事者への新型コロナワクチン接種開始。東日本大震災から10年。全国的な豪雨、水害。東京五輪・パラリンピックの開催…。夢や希望につながることもあったが、感染や災害で命を落とした方々には、心よりご冥福をお祈り申し上げる。

東京五輪・パラリンピックは一年延期での開催となったが、本会にとっても一年延期となった大切な事業がある。創立70周年記念事業である。記念式典・祝賀会などは延期された今年度においても自粛することを決定したが、60周年から10年の節目である記念誌の発行は、将来検討委員会、編集委員会を中心に進めている。一年遅れではあるが、年度内に皆さまにお届けすることになっている。

われわれの職能の原点であるレントゲン博士 (Wilhelm Conrad Röntgen) によるエックス線の発見から数えると55年後の昭和25 (1950) 年に本会は設立された。どのような世相であったか検索すると、「大東亜戦争の終戦から5年後」「朝鮮戦争始まる」「自衛隊の前身である警察予備隊の発足」「池田勇人蔵相 (当時) による“貧乏人は麦を食え”発言」「レッドパージ」等々の語句が並んでいた。世相も生活も大変に困難な時代にもかかわらず、職能団体としての船出をしっかりと果たしていただいた熱意と信念の偉大なる先達にあらためて敬意と感謝を申し上げる。

その後70年という歳月を重ねる中で、まず、現在につながるわれわれの身分法は昭和26 (1951) 年6月11日に「診療エックス線技師法」として公布され、同年8月10日に施行された。その後、昭和43 (1968) 年9月20日に「診療放射線技師及び診療エックス線技師法」に改定、診療放射線技師の区分が新設された。さらに、昭和59 (1984) 年10月1日には「診療放射線技師法」となり、診療エックス線技師の区分が廃止されて現在に至っている。その後の各種法改正、近年の業務拡大等もこの偉大な礎^{いしづえ}があつてのことである。

60周年からここ10年の期間は、私が中澤前会長から本会を引き継いでからの期間にほぼ重なっている。従来の社団法人から公益社団法人への移行、組織名称改定 (東京都放射線技師会→東京都診療放射線技師会)、正会員資格の要件であった都内在住または在勤条件の撤廃、総会の代議員制への移行など組織運営上の改革や、10年ぶりとなる関東甲信越診療放射線技師学術大会・東京開催、第37回JCRT (AACRT/EACRT)・東京開催、その他年々歳々の会務運営、各種事業が推進できたことは、会員各位のご理解・ご協力、各委員・役員のご尽力、中澤前会長の偉大な遺産の賜物と衷心より感謝を申し上げます次第である。

私は一昨年還暦を迎えたので、今年の1月号で「六十にして耳順^{しな}がう」と書いたが、論語には七十まであり「七十にして心の欲する所に従って矩^{のり}を踰えず (心の欲するままに行動しても道德の規準をはずれるようなことがない)」とある。

私は残り僅かな寿命であるが、ほぼ10年先輩の70歳の本会は、今以上に国民の安心で安全な医療の一翼を担っていると認知されるよう、あるべき姿を追求し未来につないでいく「矩を踰えない」組織である。次の10年、20年、さらに100周年以上に向けて、皆さまのより一層のご支援・ご協力、そして“参画”をお願い申し上げます。

告 示

公益社団法人東京都診療放射線技師会 2022・2023年度代議員及び予備代議員の立候補受付について

2021年12月1日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員会 委員長 島田 勇佑

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款第12・13条並びに代議員及び予備代議員選出規程により、2022・2023年度の代議員及び予備代議員の立候補受付を下記の通り行う。

記

選挙の実施内容：公益社団法人東京都診療放射線技師会の代議員及び予備代議員

任 期：2022年4月1日～2024年3月31日

立 候 補 要 件：本会会員であり、当該年度の会費を完納していること。

定 数：別表1参照

立候補受付期間：2021年12月1日（水）～12月25日（土）17時00分まで（必着）

立候補届提出先：公益社団法人東京都診療放射線技師会 選挙管理委員会 宛
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号
郵送もしくは持参のみ

選 出 方 法：代議員及び予備代議員選出規程第5条に従う。

投 票 方 法：代議員及び予備代議員の選挙は、選挙管理委員会の管理のもと、立候補者が所属する地区において郵送にて実施する。

選挙結果の告示：本会会誌で行う。

選 挙 の 日 時：2022年2月26日（土）17時00分まで（必着）

その他の必要事項については、本会のホームページ上に掲載する。

- 注 意 事 項：1) 立候補者は、所属する地区委員長に対しても、立候補する旨を届け出ること（地区メールアドレス：別表1参照）。
2) 立候補に必要な書類は、会誌6～7ページまたは本会ホームページ（<https://www.tart.jp/>）上にある様式10・11にて提出すること。
3) 代議員、予備代議員への重複立候補はできない。また、予備代議員から代議員への移行は、代議員がその資格を消失した場合のみである。

以上

（別表1）

2022・2023年度代議員及び予備代議員定数

地 区	代議員数	予備代議員数	メールアドレス	地 区	代議員数	予備代議員数	メールアドレス
第1地区	3	1	area01@tart.jp	第9地区	5	1	area09@tart.jp
第2地区	4	1	area02@tart.jp	第10地区	4	1	area10@tart.jp
第3地区	6	1	area03@tart.jp	第11地区	3	1	area11@tart.jp
第4地区	6	1	area04@tart.jp	第12地区	3	1	area12@tart.jp
第5地区	5	1	area05@tart.jp	第13地区	12	1	area13@tart.jp
第6地区	4	1	area06@tart.jp	第14地区	4	1	area14@tart.jp
第7地区	5	1	area07@tart.jp	第15地区	4	1	area15@tart.jp
第8地区	6	1	area08@tart.jp	第16地区	3	1	area16@tart.jp

※2021年9月30日現在の会員数（会員動向）をもとにした代議員数

選挙管理委員会（2021年10月11日承認）

公益社団法人東京都診療放射線技師会 代議員及び予備代議員選出規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会定款（以下、「定款」という。）第13条に定める代議員及び予備代議員（以下、「代議員等」という。）選出のための選挙に関して規定する。

(選挙権)

第2条 定款第5条第1号により正会員として登録されたものは、この規程に定める選出につき選挙権を有する。

(被選挙権)

第3条 定款第13条第2項に定める代議員等に立候補する者は、正会員としての資格を有する者とする。
2 立候補する者は、当該年度の会費の完納者であること。

(立候補届)

第4条 代議員等に立候補する者は、地区委員長に申し出を行い、立候補届【様式10】、【様式11】に記載し、期日までに選挙管理委員会に届けなければならない。

(代議員等の選出)

第5条 代議員等の選出は2年に一度、1月から3月に行う。
2 代議員等の選出は、以下の各号による。
(1) 候補者が定数または定数に満たない場合は、無投票当選とする。
(2) 候補者が定数を超えた場合は、投票を行う。投票は、定数内連記投票とする。
(3) 当選は、定数内で白票を除く有効投票の上位得票順とする。
(4) 得票が同数の場合は、抽選等にて決定する。

(代議員及び予備代議員選挙の投票、開票及び立会人)

第6条 代議員等の選挙は、郵送またはそれに代わる手段にて投票を行う。
2 選挙管理委員会は投票締め切り後、立会人の立会いのもとに開票する。
3 立会人は、正会員の中から、選挙管理委員会が選任する。

(選挙結果の公表)

第7条 代議員等の選挙の結果については、選挙管理委員会が速やかに公表する。

(異議申立)

第8条 代議員等選挙の効力に対し、不服がある選挙人または候補者は、選挙管理委員会に異議を申し立てることができる。
2 異議申し立ての受付は、開票結果発表日から1週間以内とする。
3 異議申し立てに対しては、選挙管理委員会で協議する。

(代議員証の発行)

第9条 選挙管理委員会は、異議申し立て期間終了後速やかに代議員証を発行する。

(改 廃)

第10条 この規程の改廃は、理事会の決議によるものとする。

附 則

1 この規程は、平成29年6月18日から施行する。

公益社団法人東京都診療放射線技師会

代議員 立候補届

年 月 日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員長 殿

私は、令和_____・_____年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会代議員選挙に立候補いたします。

つきましては、下記の通り立候補届を提出いたします。

記

所属地区：第 _____ 地区

氏 名（自署）： _____ 印

生年月日：昭 和 ・ 平 成 _____ 年 _____ 月 _____ 日（ _____ 歳）

勤務先名： _____

自宅住所：〒 _____ ー _____

電 話： _____（ _____ ） _____

以上

選挙管理委員会受理

年 月 日

選挙管理委員長

印

公益社団法人東京都診療放射線技師会

予備代議員 立候補届

年 月 日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員長 殿

私は、令和_____・_____年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会予備代議員選挙に立候補
いたします。

つきましては、下記の通り立候補届を提出いたします。

記

所属地区：第 _____ 地区

氏 名（自署）： _____ 印 _____

生年月日：昭 和 ・ 平 成 _____ 年 _____ 月 _____ 日（ _____ 歳）

勤務先名： _____

自宅住所：〒 _____ ー _____

電 話： _____（ _____ ） _____

以上

選挙管理委員会受理

年 月 日

選挙管理委員長

印

2021年度 城北支部研修会

テーマ「医療×3DCG」～最新のゲームCGによる次世代可視化～

講師：医師／サイエンスCGクリエイター 瀬尾 拓史 氏

日本唯一の医療CG（コンピューターグラフィックス）クリエイターの瀬尾拓史先生に、ご講演いただきます。近年のCT撮影は、撮影装置やコンピューターの大幅な性能向上により、ポリウムデータとして取り扱うことのできる時代となり、診断目的のみならず手術支援（シミュレーション）としても行われています。

瀬尾先生は、東京大学医学部在学中にCG専門学校へ通われ3DCGの基礎を習得されたのちに医師免許を取得されました。医学とCGの知識を持つサイエンスCGクリエイターの地位を確立されて、これまでの豊富な知識と技術により分かりやすい医療CG画像を作成されています。また、最近ではCT画像を一瞬で高精細CGに変換するソフトを開発され、現在開発中の裸眼立体視リアルタイムDICOMビューワー『Viewtify』をご紹介します。

今回の研修会（会場参加者に限る）では、実際に『Viewtify』を体感させていただける予定です。

医療とCGの融合がもたらす未来を、感じてみませんか？

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2021年12月4日（土）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）

開 催 会 場：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

Web会 場：Zoom（IDおよびパスワードは追ってご連絡致します。）

※コメント欄に会場参加、Web参加をご記入ください。

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：開催会場 20名（先着順）、Web 30名（先着順）

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：城北支部委員会

E-Mail：shibu_jouhoku@tart.jp

第5地区委員長

中田健太

第6地区委員長

伊佐理嘉

第16地区委員長（城北支部委員長） 関谷 薫

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第127回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「ちょっと教えて！ ペースメーカーについて」

講師：メドトロニック株式会社 CRM事業部 営業部 清崎 涼太 氏

第127回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回はペースメーカーについて基本的な構造や装置の設定・仕様など、あまり馴染みのないところまで講義をしていただきます。ICDやCRTなど、ペースメーカー以外の説明や不整脈などについても講義をしていただく予定です。

今後の日常業務において役立てられればと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2021年12月8日（水）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：30名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第128回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「ちょっと教えて！ ベッドサイドモニターについて」 ～呼吸管理モニタリングの必要性～

講師：日本光電工業株式会社 東京支社ソリューション営業部 山口 布希子 氏

今回は、ベッドサイドモニターについて解説していただきます。

SpO₂は血中の酸素飽和度をモニタリングしています。呼吸が停止すれば徐々に血中の酸素は減っていき数値は低下、全身への酸素運搬の不良が評価できます。そのことから酸素を取り込めていない呼吸の異常を知ることができます。

ETCO₂は毎呼吸の呼気のCO₂分圧を見ているため、鎮静時などの呼吸抑制・呼吸停止、挿管時のトラブルなど、換気のトラブルをより早く検知できます。小児MRI鎮静においてETCO₂測定の必要性が学会から発表されています。

患者さまの安全を守るために、適切なモニタリングにつながる内容をお伝えできればと思います。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で、順次通常のセミナーを再開してまいります。それまで今しばらくお待ちください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年1月12日（水）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：30名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第19回ウインターセミナー

テーマ「知っておくべき腹部・骨盤部単純X線撮影における 生殖腺遮蔽廃止の動向とその科学的根拠」

講師：杏林大学 保健学部診療放射線技術学科 講師 石川 純也 氏

第19回ウインターセミナーもWeb開催と致します。2021年1月、米国放射線防護審議会（NCRP）は生殖腺遮蔽廃止に向けた声明（Statement No.13）と、その付属文書を公開し、腹部・骨盤部領域の単純X線撮影時における、生殖腺遮蔽は放射線防護の慣例として正当化されない旨を勧告しました。

長らく慣習的であった生殖腺遮蔽を撤廃することの是非を検討するには、診療放射線技師はもちろんのこと、他の医療職種の正しい理解が不可欠です。そこで本講演では、声明に至る経緯や生殖腺防護廃止を決断するに至った科学的根拠を概説します。第一線で活躍される方から管理者まで、皆さまのご参加をお待ちしております。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

参加申し込みおよび参加費お支払いにはWebシステム「イベントペイ」を使用しております。ご案内は電子メールで致します。「イベントペイ」からのメール送信となりますので、ドメイン指定等されている場合は受信できるように事前に設定をお願い致します。フリーメールをご利用の場合、迷惑メールとして処理される可能性があります。迷惑メールフォルダや削除済フォルダ内をご確認ください。



申し込みは下記のアドレスまたはQRコードからお願い致します。

一度お申し込みいただいた受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。

参加申し込み： https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P425681073

記

日 時：2022年1月29日（土）15時00分～16時30分

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、上記アドレスまたはQRコードからお申し込みください。

※後日、参加者には「イベントペイ」よりURL、パスワード、IDを返信致します。

定 員：50名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2021年度 第1回災害対策研修会 <Web開催> テーマ「災害対策準備はどうですか? ～日頃の備えを見直そう～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

「災害対策マニュアル」「災害時訓練」「食料の備蓄」・・・災害対策の準備は万全ですか？
実際の災害時を想像すると、それ以外にも準備しておかなくてはならないことはありませんか？
今回の研修会では、施設内で災害対策を担当している方々から、上記にプラスして実施している（準備している）災害対策関連の事柄について発表していただき、災害対策における日頃の備えについて考えてみたいと思います。

皆さまの施設の災害対策に対する日頃の備えを、見直すきっかけになれば幸いです。

参加申し込みおよび参加費お支払いにはWebシステム「イベントペイ」を使用しております。ご案内は電子メールで致します。「イベントペイ」からのメール送信となりますので、ドメイン指定等されている場合は受信できるように事前に設定をお願い致します。フリーメールをご利用の場合、迷惑メールとして処理される可能性があります。迷惑メールフォルダや削除済フォルダ内をご確認ください。



申し込みは下記のアドレスまたはQRコードからお願い致します。

一度お申し込みいただいた受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。

参加申し込み：https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P939053500

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年1月28日（金）19時00分～20時30分（Web開催）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 1,000円

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、上記アドレスまたはQRコードからお申し込みください。

※後日、参加者には「イベントペイ」よりURL、パスワード、IDを返信致します。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：SR推進委員会 渡辺 靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第129回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「単純X線撮影は、動画撮影の領域へ」

～X線動画解析ワークステーション KINOSIS (キノシス)～

講師：コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー IoT事業統括部 病院戦略部 元木 悠太 氏

第129回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回は、X線動画解析ワークステーション KINOSISについて解説していただきます。従来の胸部単純X線撮影と同様に、一般X線撮影装置での撮影が可能です。アニメーションと同じ原理で、パルスX線を1秒間に約15回連続照射し、コマ撮りした画像を連続表示することで動画を作成します。実際の動きを観察できる胸部X線動画からは、静止画に比べて非常に多くの情報を得ることができると考えています。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で、順次通常のセミナーを再開してまいります。それまで今しばらくお待ちください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年2月9日（水）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：30名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



2021年アンケート調査 「診療放射線技師法改正に関する意識調査」 ご協力をお願い

厚生調査委員会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本会事業推進にあたりご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび厚生調査委員会では、診療放射線技師法改正に関する意識について把握し、会員の皆さまに現状として報告するとともに、今後業務を行う上での参考としていただきたく下記の通りアンケート調査を実施する運びとなりました。

つきましては主旨をご理解いただき本アンケート調査にご協力をお願い申し上げます。

記

1. この調査は東京都診療放射線技師会の、2021年度事業計画に基づいて実施されます。
2. 調査名：「診療放射線技師法改正に関する意識調査」
3. 調査対象：東京都診療放射線技師会会員
4. 回答期限：2021年12月17日（金）
5. 調査方法：Webブラウザを利用した入力方式（PC、スマートフォンなど）
6. 調査情報の取扱い：

重複回答の管理を目的として付与された回答管理番号が記載された調査依頼施設管理表は、個人情報管理者が厳重に保管し、いかなる場合でも個人情報管理者以外には閲覧することができません。回答管理番号から施設を特定することはできません。この調査結果は学会誌や学会にて報告する場合があります。この回答は一定期間の保存の後に削除します。

以上

2021年度 第9地区研修会

テーマ「患者に優しい外傷撮影のイロハ」 ～技術継承 受け継ぎ進化し続ける一般撮影技術～

講 師：武蔵村山病院 森 剛
講 師：帝京大学医学部附属病院 西郷 洋子

本年度の第9地区研修会はWeb開催とします。

日常の撮影業務においても外傷患者は特にどのように撮影を行ってよいか大変苦勞します。

今回、森先生をお招きして外傷撮影について分かりやすく講義していただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で、順次通常のセミナーを再開してまいります。それまで今しばらくお待ちください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年2月2日（水）19時00分～20時30分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：100名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：第9地区委員長 西郷洋子 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 2

2021年度 第12地区研修会

テーマ「臨床検査技師に聞く 放射線部門で役立つ検査データ」 ～血液データを中心に～

講 師：公立昭和病院 臨床検査科科长 櫻井 勉 氏

とある夜間勤務の日・・・『Prrrrr.... 研修医の〇〇です！ 検査データでCRP20、WBC20,000あって炎症所見を疑うので、熱源精査目的でCTをお願いしたいのですが・・・ eGFRが40程度しかなく造影CTは可能でしょうか？』皆さんこんな経験ありませんか？

依頼医からの検査データをちりばめられた猛烈な電話越しの相談や、依頼オーダーに検査データの羅列。なんとなくは分かっているけど、ちゃんとは分かっていない。そんなお悩み解決できるかもしれません。

今回は検査データを取り扱うプロである臨床検査技師の方に、放射線部門で役立つ血液データを中心に分かりやすくお話ししていただきます！

新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

記

日 時：2022年2月18日（金）19時00分～20時00分

開催方法：Web配信（Microsoft Teams）

定 員：50名（事前予約制先着順）

※参加者には後日専用URLをメールで配信致します。

受講料：500円

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームから申し込み、またはQRコードもしくは下記URLからイベントページにてお申し込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P696859524



問い合わせ：第12地区委員長 小野賢太 E-Mail：areal2@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

以上

2020年度新入会員に対する入会特典について

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、皆さまの健康と安全を第一に考慮しました結果、2020年2月より研修会などの活動を自粛してきました。

新卒かつ新入会員の皆さまが本来受けられる会員特典のひとつである、本会主催の一部研修会（下記参照）の無料受講が、2020年度においては実施されることが少なかった状況をみて、2020年度の新卒かつ新入会員の皆さまにおいては、2021年度も無料期間とすることに2020年度第3回理事会にて承認されたことをお知らせします。

【新卒かつ新入会員の受講料無料事業】

- ・サマーセミナー
- ・ウインターセミナー
- ・日暮里塾ワンコインセミナー
- ・東放技・東京支部合同学術講演会
- ・支部研修会
- ・地区研修会 等

※2021年度の新卒かつ新入会員の皆さまにおいては、本会規程の通り上記イベントは無料です。

以上

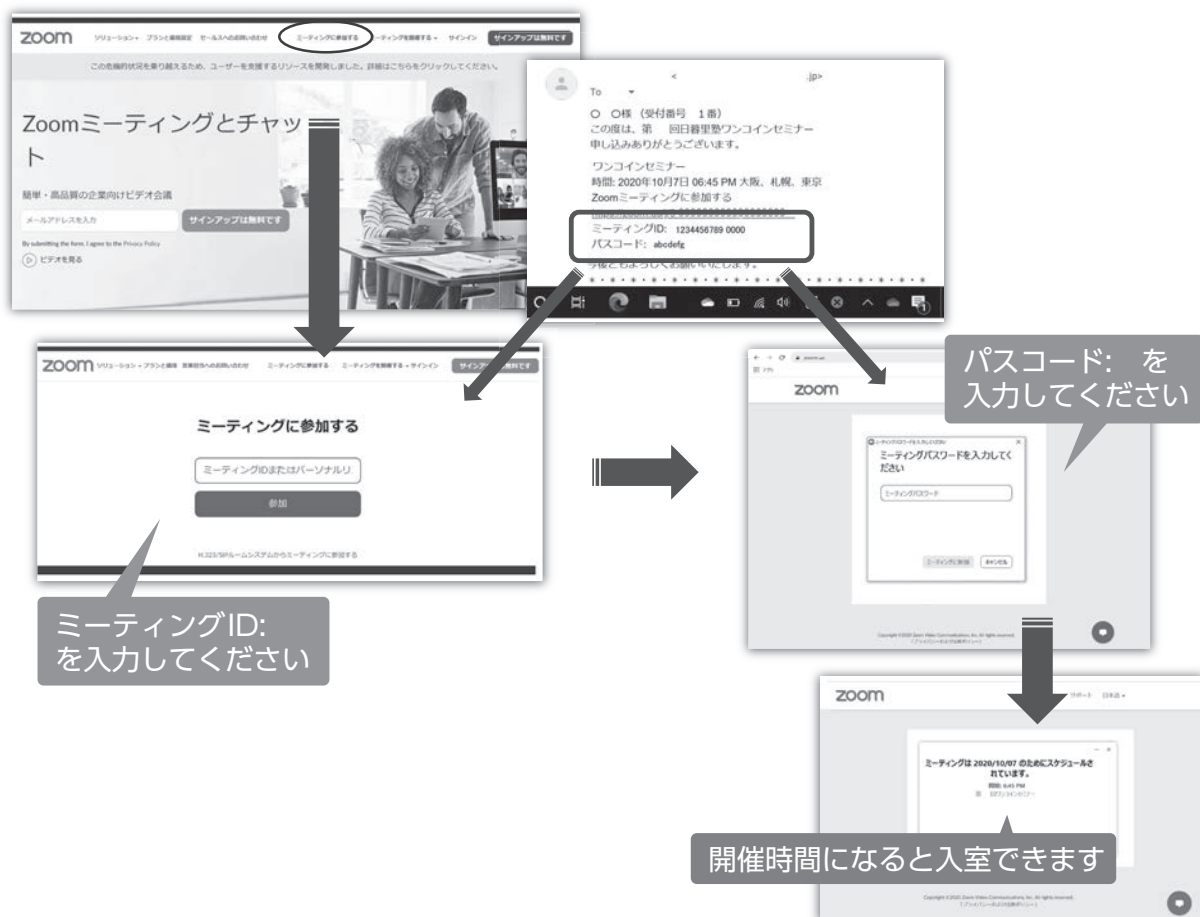
東放技 Web開催研修会等受講方法について

【Zoom参加手順】

メールURLより



Zoomホームページより



※注意点として

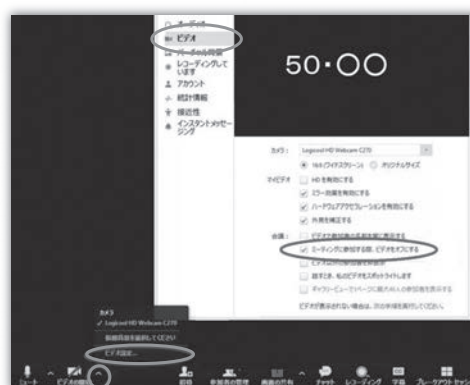
①「参加者」より
名前を入力してください



②「マイクをミュートにする」
にしてください



③「ビデオをオフにする」
にしてください



確認をお願い致します



当日はよろしくお願い致します

お知らせ 5

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要” から“支部・地区一覧表”をお選びください。



公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報 お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介 
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介 
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介 

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

注腸X線造影検査 —炎症性疾患を中心に—

JCHO 東京山手メディカルセンター 放射線部 鵜沼 清仁

1 はじめに

大腸疾患の画像診断は大腸内視鏡検査と注腸X線検査が主に行われているが、大腸内視鏡検査の進歩に比べ注腸X線検査は古典的であり、FPD (Flat panel detector) やCアーム装置が開発されてはいるが検査法に特筆すべき進歩はなく、目覚ましく進歩する内視鏡と比べ検査不要論が論じられることもある^{1) 2)}。しかしながら病変の壁在性や側面像での壁の硬さ、炎症性腸疾患* (以下、IBD: Inflammatory bowel disease) などで広範囲に炎症が及ぶ場合での全体像の把握、慢性炎症により長い経過を辿る場合での経過観察が同部位で容易にできることなどは注腸X線検査が優れた点であるといえる。筆者の施設ではIBDセンターが併設されているため多くのIBD患者の注腸X線検査を行っている。本稿では当院で行われているIBD患者を対象とした注腸X線検査の実際と、その有用性について症例を交えて解説する。

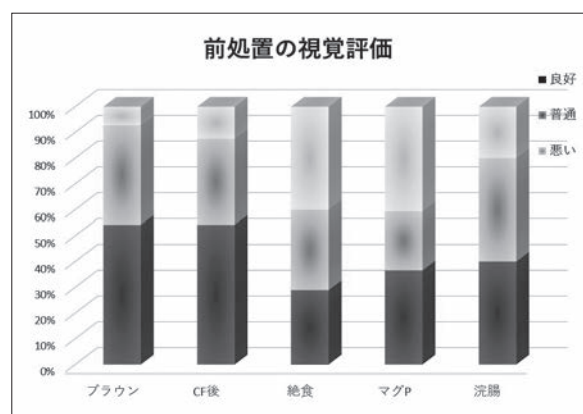
※炎症性腸疾患 (IBD): 広義には大腸の炎症疾患を示すものであるが、狭義には難治性で原因不明な慢性炎症であるクローン病と潰瘍性大腸炎を総称して用いられる。

2 前処置

IBDを対象に行う注腸X線検査であってもブラウン変法による前処置が一般的である。しかし、腸管に活動性炎症があり絶食管理をしている場合や経腸栄養剤のみで経過観察中の場合で下剤による腸管刺激を避けたい場合、同日大腸内視鏡後注腸X線検査の場合などではブラウン変法以外の前処置で注腸X線検査が行われることがある。当院で2020年1月～2021年5月にIBD患者を対象に行われた注腸X線検査198例の前処置の内訳を表1に、前処置の視覚評価をグラフ1に示した。行われた前処置は①ブラウン変法②ポリエチレングリコール溶液 (以下、PEG) による腸管洗浄液法 (同日大腸内視鏡後注腸X線検査のみ) ③絶食のみ

表1

2020年1月～2021年5月までに当院で炎症性腸疾患を対象に注腸X線検査を行った198例の前処置 (ガストログラフィンによる注腸は除く)	
ブラウン変法 (検査前日20時: マグP1包250mlの水で服用。 22時: ビコスルファートナトリウム10ml内服 当日08時: モサブリド内服)	93例
大腸内視鏡同日 (検査当日AM8:00からポリエチレングリコール2Lを服用 AM10:00 モサブリド2T内服)	49例
絶食	44例
マグコロールPのみ	7例
浣腸 (検査開始約2時間前に浣腸施行)	4例
その他: 1例	



グラフ1 前処置の視覚評価

④塩類下剤のみ ⑤浣腸のみ に大別され、各前処置で行われた注腸X線検査画像から前処置の視覚評価をすると①ブラウン変法や②PEGによる腸管洗浄液法 ⑤浣腸のみで検査に耐えうる画像が得られたが、③絶食のみでは固形残渣が多く、④塩類下剤のみでは水分残渣が多いという結果で検査としては不十分な前処置であった。

3 | レクターチューブの挿入

IBD患者でも特にクローン病では肛門疾患を併発していることが多く、レクターチューブ挿入は慎重に行わなければならない。筆者はフォーリーカテテルを用いて検査を行っているが12fr～30frの径の違うカテテルを用意し肛門痛がある場合などは細径の物を使用するようにしている。しかしながら、検査後に脱気する場合はある程度のチューブの内腔が必要であり細ければ良いというものでもない。また、痔瘻などの肛門病変が視認できる場合では炎症が直腸下部まで及んでいることもあり、伸展が悪く狭小化を呈している部分で固定バルーンを拡張させると直腸損傷や出血を起こす原因となってしまうためレクターチューブ挿入後すぐにカテテル先端のバルーンを拡張するよりは空気を注入するか少量造影剤を注入し下部直腸の伸展を確認してから固定用バルーンを拡張させるほうが良い。図1の写真は複雑痔瘻の精査目的で行われた注腸X線検査（ガストログラフィン使用）の画像である。肛門管から痔瘻が描

出されているが（図1▲参照）下部直腸からS状結腸に瘻孔形成を認め（図1→参照）、チューブの挿入方向からそのまま挿入すれば瘻孔にチューブを挿入することになり非常に危険である。

4 | 撮影

レクターチューブ挿入後、造影剤を注入する。筆者の施設では1回の検査で約200mlのバリウムを基本としている。バリウムの種類は上部消化管X線検査で使用するような粗粒子を含むものでは粘膜に付着しにくいため微細粒子を多く含むものを選択する。実際に大腸を撮影するとき、最初の注入ですべての造影剤を注入したら大腸の走行に合わせて体位変換を繰り返し、造影剤を口側に移動させる。この時、空気の注入や透視台の起倒を要所で併用することで移動が速やかに行われる。空気の注入に際しては一度にたくさんの送気をするとう結腸内に空気が先行してしまい造影能が悪くなったり造影剤が移動しにくくなったりするので気を付けなければならない。造影剤を移動させながら二重造影にするが、造影剤を口側に送っている最中に狭窄・変形・裂溝等の所見が得られれば充盈像でその都度撮影をしていき二重造影の撮影は下行結腸脾弯曲寄りまですべての造影剤が移動してから開始してもよい。撮影方向は多方向からの撮影を基本とし直腸-S状結腸部は最低6方向以上、下行結腸から上行結腸まではAP/PA方向を含む最低2方向以上、回盲部は圧迫をして十分にバウヒン弁を描出するように心掛け撮影をする。直腸-S状結腸部の撮影と同じく、造影剤移動中に狭窄・変形・裂溝などの所見を認めた場合は充盈像の撮影も積極的にすべきである。また、IBDでは終末回腸に炎症が好発するため、可能な限り回腸を逆行性に造影するほうがよい。バウヒン弁から20cm程度口側まで造影したいところである。図2の症例は、クローン病が疑われ注腸X線造影検査が行われた症例である。大腸の造影では明らかな炎症所見は指摘できないが終末回腸を造影するとバウヒン弁から15-20cmほど口側に位置する回腸に縦走潰瘍を認めクローン病の所見を得ることができた。



図1

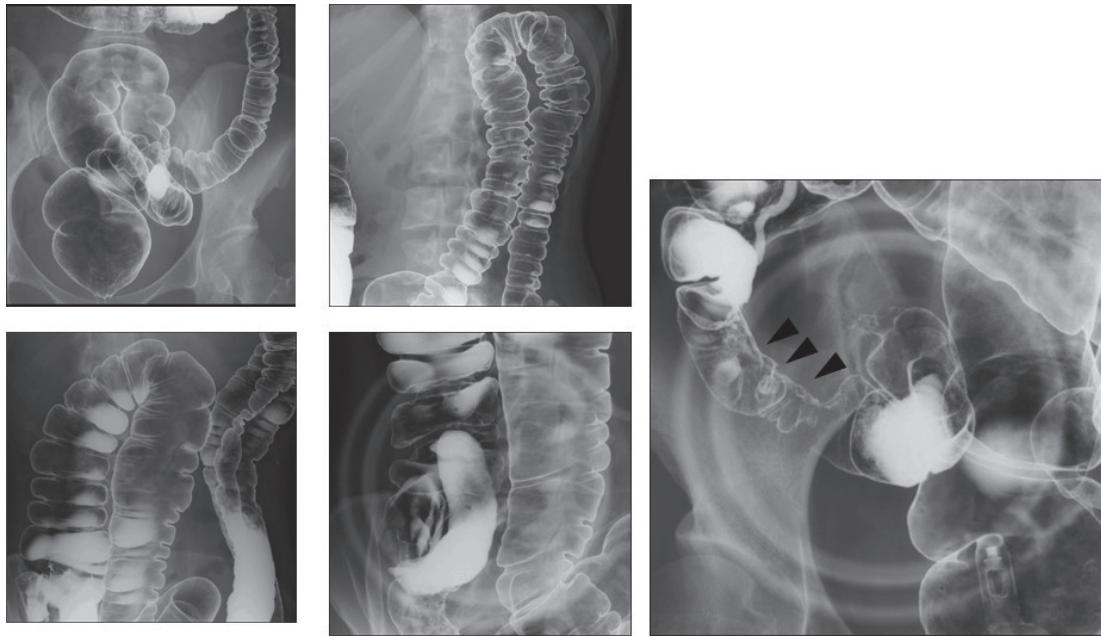


図2 直腸～回盲部までの画像(左4枚)では明らかな異常は指摘できないが終末回腸に縦走潰瘍を認める(右拡大▲参照)

5 | 画像所見

a. クローン病 (Crohn's disease)

- i) 縦走潰瘍 (図3)：腸管の走行に沿った長軸方向の潰瘍を指す (図3→参照)。潰瘍形成部分

がX線的に側面像で捉えられたとき偏側性に変形を認める (図3▲参照)。また複数の縦走潰瘍に伴い、裂溝間の粘膜が隆起して敷石状外観 (Cobblestone appearance) を生じることもある。

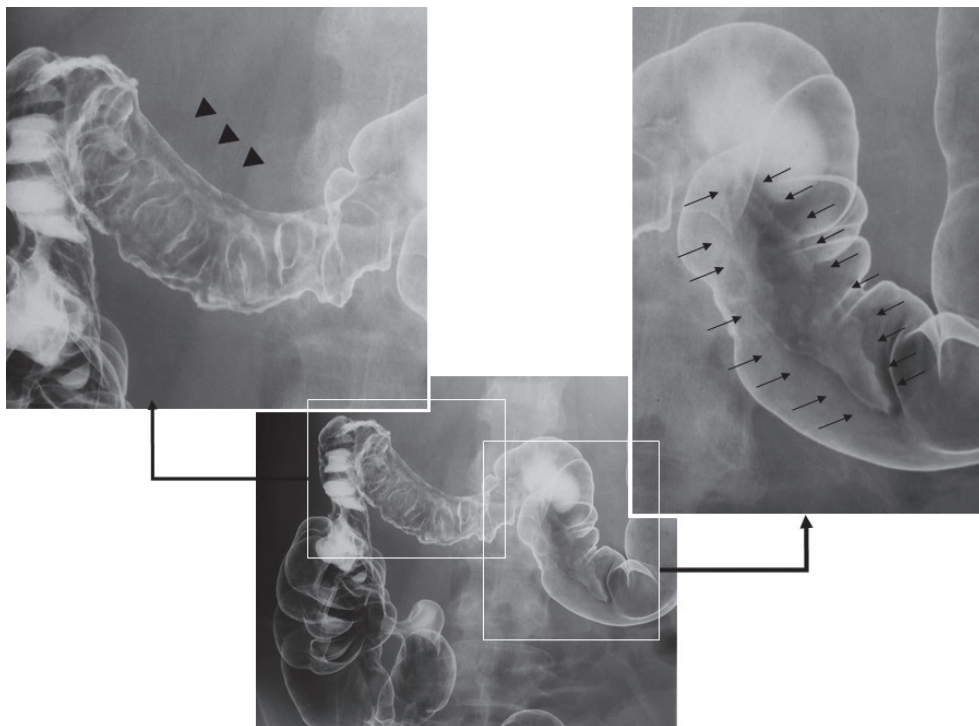


図3 縦走潰瘍の正面像(上段右)と側面像(上段左)

ii) 瘻孔：炎症によって近接する管腔または臓器との間に異常な交通ができてしまう状態。体内で形成されれば内瘻、体内と体外で形成されれば外瘻である。図4はクローン病で経過観察中に行われた注腸X線検査の画像である。直腸-S状結腸撮影時にS状結腸に引き攣れと壁外へはみ出すひげ状のバリウム陰影を認めた(図4○印参照)。その後回盲部まで造影し、さらに終末回腸を造影するとS状結腸と終末

回腸に異常な交通を認め回腸-S状結腸瘻と診断された。

iii) アфта・小潰瘍：小さな粘膜の欠損。X線的には粘膜欠損部分に溜まる僅かなバリウム斑と浮腫により生じる周囲の淡い透亮像で描出される。図5はクローン病で下行結腸に小潰瘍を認めた症例である。注腸X線画像の拡大写真で僅かなバリウム斑と周囲に透亮像を認めることができる(図5▲参照)。

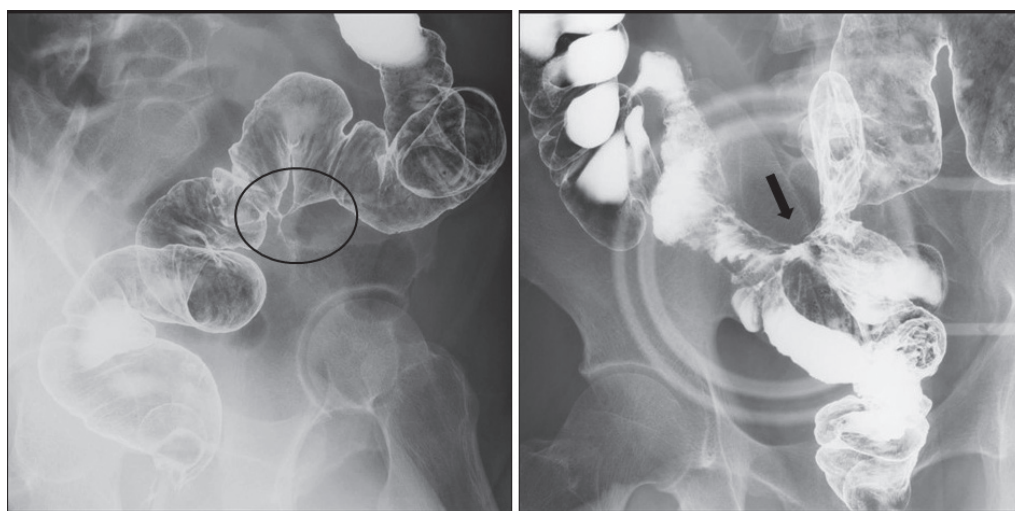


図4 S状結腸で壁の引き攣れを認め(左)、終末回腸を造影するとS状結腸との瘻孔形成を認めた(右)

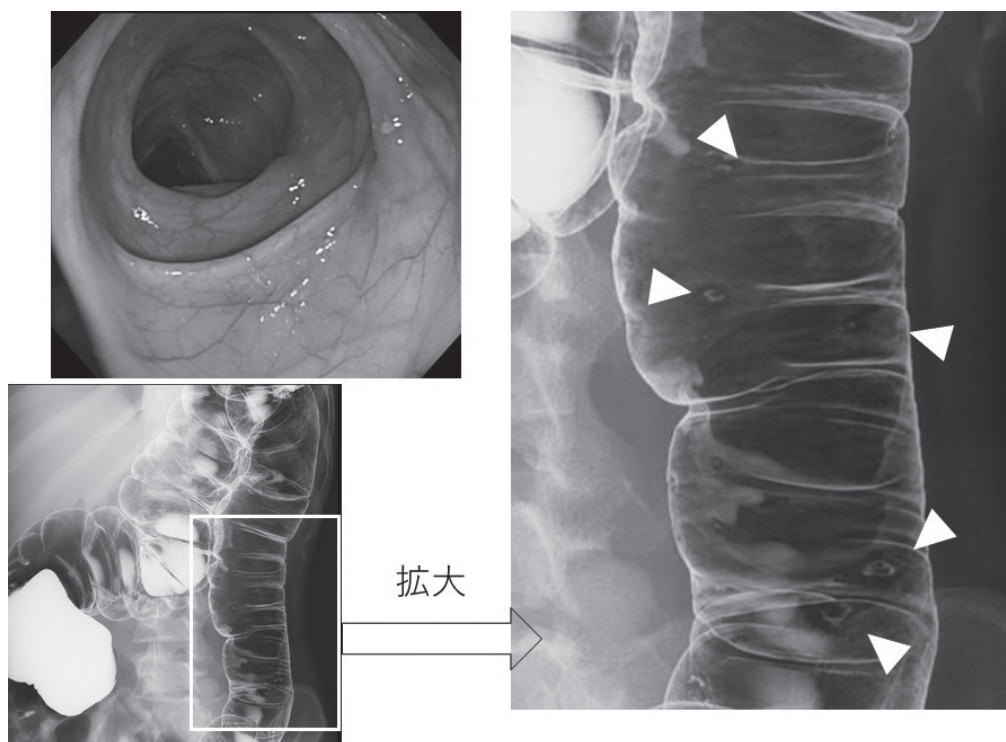


図5 大腸の小潰瘍。小さな透亮像を伴ったバリウム斑を認める

b. 腸結核

結核菌を含んだ喀痰を嚥下して起こる経口感染が主であると考えられている³⁾。腸管病変の部位は回腸、回盲弁、右半結腸に好発し区域性・非連続性の病変を認める。輪状潰瘍・狭窄・萎縮癆痕帯・回盲弁開大などの画像所見が特徴的である。図6は腸結核の注腸X線画像と大腸内視鏡像である。

c. 腸間膜脂肪織炎

腸間膜の脂肪組織の非特異的炎症として1960年にOgdenらがmesenteric panniculitisと呼称した⁴⁾。画像所見ではCT検査の有用性が高い。注腸X線画像では腸管の狭小化と腸間膜付着側の伸展不良を呈するが硬さはなく、不整な鋸歯状陰影が特徴的で、粘膜面に明らかな潰瘍形成は認めないなどの所見が得られる（図7参照）。

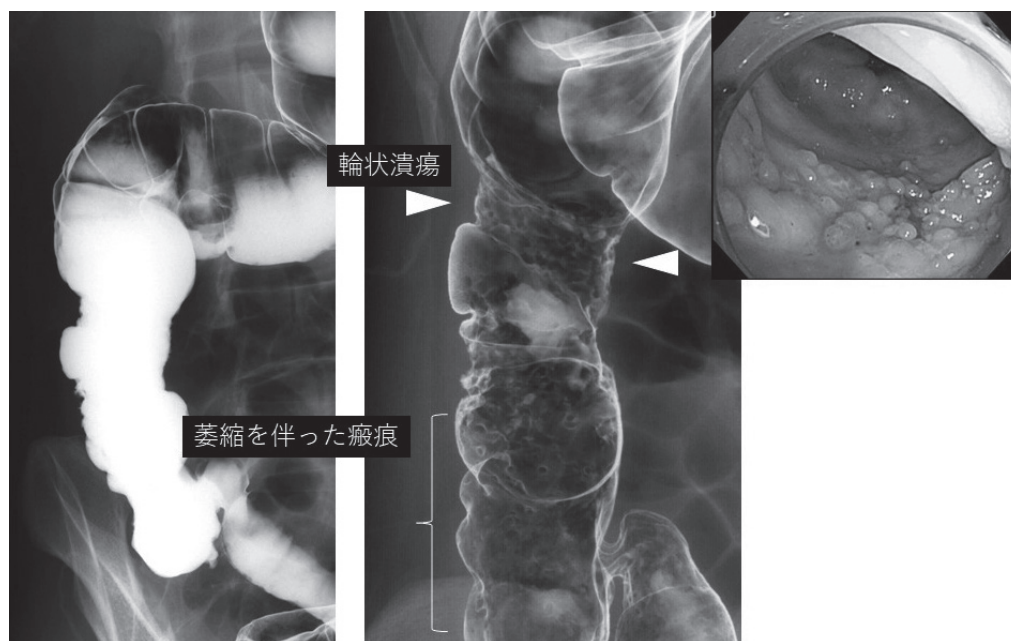


図6 腸結核の注腸X線画像と内視鏡像

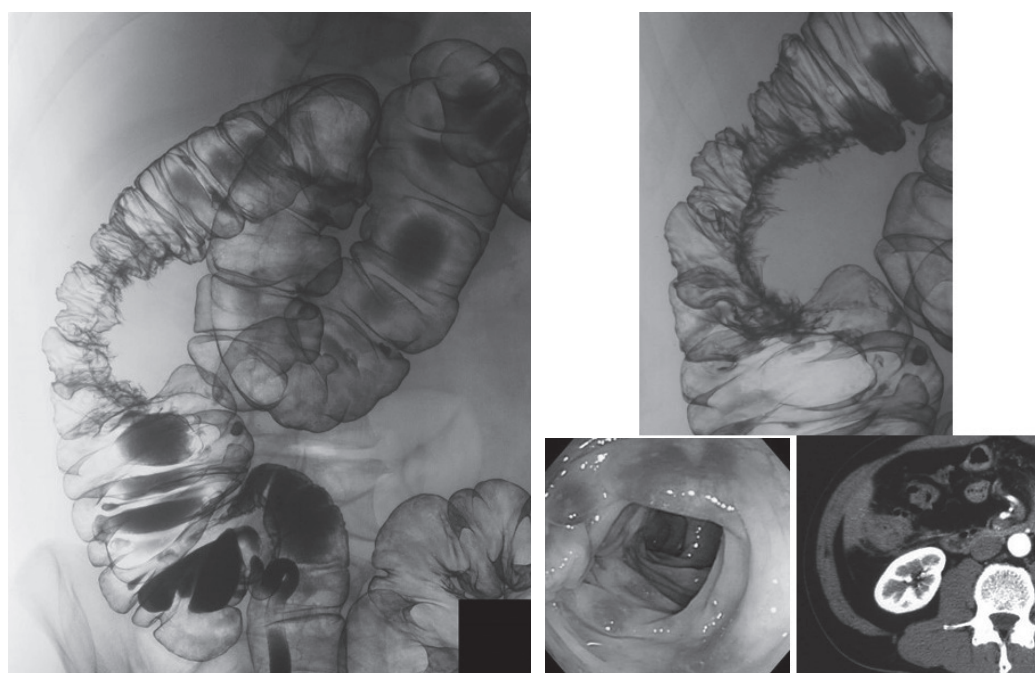


図7 腸間膜脂肪織炎：Mesenteric panniculitis

6 | おわりに

当院で行っている注腸X線検査と炎症性疾患で得られる画像所見を提示した。注腸X線検査は手技が煩雑であり敬遠されがちな検査である。しかしながら、私見ではあるが近年の診療放射線技師業務は放射線機器の進歩により技術を要する場面が少なくなった。その中で消化管造影検査は検査の結果が術者の技術により左右されることが多々ある。これについては賛否両論あるかもしれないが、難しい症例に対し綺麗な画像が撮影できたときの感動は消化管造影検査に携わる診療放射線技師にしか味わえない醍醐味である。消化管造影検査の上達は消化管造影検査が好きになることが第一歩である。今後、注腸X線検査の技術が継承されることを期待する。

参考文献

- 1) 河南智晴, 柏木亮一, 坂根芳夫, 他. 大腸癌の診断に注腸X線検査は必要か—原則不要とする立場から: 大腸癌の拾い上げ診断における注腸X線検査の診断能の検討. 胃と腸 33: 729-735, 1998.
- 2) 正木忠彦, 鈴木公孝, 渡辺聡明, 他. 大腸の炎症性疾患の診断に注腸X線検査は必要か—内視鏡を重視する立場から. 胃と腸 33: 765-771, 1998.
- 3) 日比谷秀爾, 藤井俊光, 岡本隆一. 鑑別すべき腸疾患. 臨床と研究 98: 569-572, 2021.
- 4) Ogden WW, Bradburn DM, Rives JD et al: Panniculitis of the mesentery. Ann Surg 151: 659-668, 1960.

日本診療放射線技師連盟

2021 No. 10 ニュース

(通巻No.67)

発行日 令和3年10月22日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 10月11日(月) 遠藤利明衆議院議員(選対委員長)との面談
(陳情書の報告、推薦状の提出)
- ② 10月13日(水) 自民党各衆議院議員への推薦状提出
- ③ 10月14日(木) ふくしま復興について考える勉強会の開催
- ④ 10月18日(月) 政権公約に関する「政策懇談会」に参加



畦元代議士を衆議院比例中国ブロックにて
名簿上位にする陳情書
(21,561名から署名をいただきました)

事務局からのお願い

本連盟の年度は1月から12月となっております。
2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金

口座番号:0667669

加入者名 日本診療放射線技師連盟

第49回衆議院総選挙にて、畦元代議士は中国ブロック
比例代表者候補で名簿順位が4位となりました。

2022年度関東甲信越 診療放射線技師学術大会



【会期】2022年 6月25日(土) 26日(日)

【学会会場】Gメッセ群馬(予定)

【主催】

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会	公益社団法人 日本診療放射線技師会	一般社団法人 千葉県診療放射線技師会
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会		公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人 栃木県診療放射線技師会		一般社団法人 長野県診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県放射線技師会		一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会		公益社団法人 東京都診療放射線技師会

大会長 後閑 隆之

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会会長

実施 一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

会員動向

2021年4月～10月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2020年度末集計	2,239	97	15	44	145
2021年 4月	2,259	23	5	4	4
2021年 5月	2,270	12	4	3	2
2021年 6月	2,286	20	0	1	3
2021年 7月	2,300	15	1	0	2
2021年 8月	2,328	27	4	3	0
2021年 9月	2,351	24	4	3	2
2021年10月	2,375	27	2	2	3



News

12月号

日 時：2021年10月7日（木）
午後7時00分～8時10分

場 所：インターネット回線上

出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、
江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
竹安直行、浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、
宮谷勝巳、渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一

出席監事：野田扇三郎、葛西一隆

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、島田 諭（第2地区委員長）、小林隆幸（第4地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、中西雄一（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、小野賢太（第12地区委員長）、丸山大樹（第4地区副委員長）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：篠原健一（会長）

司 会：麻生智彦（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

会長挨拶

本日もお忙しい中、理事会へのご出席を感謝する。コロナウィルスの感染者数が減り、緊急事態宣言も解除されたが、医療界においては制約や制限がある中で大変だと思うが、会務へのご尽力をお願いする。学術大会まで36日（約5週間）となった。学術大会の準備にも様々な制約があるが、可能な限り皆さまと楽しみながら準備をしたいと考えている。下半期に入ったので、上半期の締め作業や次年度の準備等があり、今月末の26日には中間監査がある。学術大会の作業と重なっているが、例年通り、皆さまのご協力をお願いする。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

南関東地域のみファシリテーター養成講習会の代替日程が未定。12月又は1月までに開催し、その後の各都道府県の講習会に繋げたい。ご協力をお願いする。

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

9月11日に行われた岸田文雄先生のリモートヒアリングで日本診療放射線技師会 上田会長が診療放射線技師職について説明している動画がYouTubeで閲覧可能なので、皆さんにも是非視聴していただきたい。

麻生副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請について

①第127回日暮里塾ワンコインセミナー (Web開催)

テーマ:「ちょっと教えて! ペースメーカーについて」

日 時: 2021年12月8日(水) 19時00分~19時50分

場 所: Web

【承認: 20名、保留: 0名、否認: 0名】

②2021年度第1回災害対策研修会 (Web開催)

テーマ:「災害対策準備はどうか? - 日頃の備えを見直そう -」

日 時: 2022年1月28日(金) 19時00分~20時30分

場 所: Web

【承認: 20名、保留: 0名、否認: 0名】

③第19回ウインターセミナー (Web開催)

テーマ:「知っておくべき腹部・骨盤部単純X線撮影における生殖腺遮蔽廃止の動向とその科学的根拠」

日 時: 2022年1月29日(土) 15時00分~16時30分

場 所: Web

【承認: 20名、保留: 0名、否認: 0名】

2) 選挙管理委員選出について

各支部1名ずつ選挙管理委員を選出していただいたので、当理事会で承認をいただき、選挙管理委員会としての活動を始めたい。

【承認: 20名、保留: 0名、否認: 0名】

3) 役員新任変更退任申請について

第13地区の松田さんのファイルが2つ(退任と変更)存在しているが、退任申請のファイルだけが有効となる。新任に関しては、厚生調査委員が2名、第3地区が1名、第5地区が1名である。2年前に各地区会員数から算出した地区委員数の定数(地区の会員10名あたり地区委員を1名置く)の規定に関しても問題のない申請である。変更に関してはなかった。

また、退任申請に関しては、任期2年と決まっているものに対して辞めることを承認する必要がないのではないかと考える。次年度から退任申請に関しては理事会の議事としてあげずに、報告事項とさせていただきたい。

【承認: 20名、保留: 0名、否認: 0名】

4) 合同学術講演会参加費について

日程は2月12日(土) 16時開始に決定した。開催場所は東京都立大学の秋葉原キャンパスで、人数は40名(80名収容可能な場所)で行う。テーマに関しては未定だが、AIの臨床使用に関するものにする予定。

講師も未定。参加費に関して東放技としてはイベントペイを使用しているが、東京支部ではラクネを使用しており、本年度に限っては無料開催にしたいと考えている。

白木副会長・麻生副会長:

TARTの内規の中で参加費の設定に関するものもあるが、開催担当が東京支部であるということも考慮して、今回は東京支部の提案に合わせて無料にして良いのではないかと。

【承認: 20名、保留: 0名、否認: 0名】

5) 新入退会について

9月: 新入会24名、転入4名、転出3名、退会2名

上記について審議した。

【承認: 20名、保留: 0名、否認: 0名】

野口庶務委員長:

先月の理事会で議題となった再入会の申請者に関して、JARTでは承認されたため退会は取り消される見通しである。

地区質問、意見

第3地区

・地区の会員名簿ですが手元にあるのが2019年度までとなっています。選挙管理委員など地区を把握する際に必要となります。最新版をいただきたいと思います。

野口庶務委員長:

これまでは理事会においてUSBなどを用いて直接会員名簿をお渡ししていたが、新型コロナウイルスの影響で、理事会がWeb開催となっているためできない状況である。学術大会の準備が落ち着いてから、セキュリティを担保した上で皆さまに配布する。

平瀬第3地区委員長:

新地区委員として慶應義塾大学病院の数納優希君を推薦しますが、技師会は未入会で今回の入会予定者です。入会が認められれば地区委員として活動していただこうと思っている。

鈴木総務委員長:

今後地区委員の推薦をする際は、今後は入会の手続きが済んで会員となった方を申請していただきたい。

情報委員会

・研修会申込にFAXの申し込みが書かれているが、Web申し込みのほうが早く、先着で行うと、FAX申し込みの会員が不利になるのではないかと。

FAX申込枠を作るとか、Webのみにしてはどうか検討してもらいたい。

浅沼編集委員長：

FAXでの申し込みは年々減少しているが、全くないわけではない。以前よりこの話題は専門部委員会などで議論となってきた。前提として、会員に確実に渡っているのは会誌であり、FAXでの申し込みは全会員が平等に行うことができる。したがって、現時点でFAXでの申し込みを続ける理由であり、Web申し込みのみとするのは時期尚早であるとされてきた。

鈴木総務委員長：

現時点で早急に結論を出すのは困難であり、今後の検討事項になると考える。専門部委員会だけでなく、地区委員会でも良い意見を募っていただきたい。

篠原会長：

Web申し込みが大半ではあるが、現在でも少なからずFAXでの研修会申し込みを行っている方がいる。これを踏まえると、Web申し込みのみとするのは、やはり時期尚早である。会員の皆さまに研修申し込みに不利益が生じないよう、今後も議論し運営していきたい。

連絡事項

石田70周年記念事業実行委員長：

皆さまのご協力のおかげで原稿が徐々に集まっており、地区委員長からはほぼ全て集まっている。10月末までに東京都知事や来賓の方からの祝辞を頂戴し、その後編集作業に入る予定である。

高野渉外委員長：

10月1日の都民の日に東京都知事表彰があり第13地区の川崎さんが今回受賞されたので報告する。

江田厚生調査委員長：

本年度のアンケート調査は告示研修をテーマとして調査を行う予定である。方法としてはGoogleフォームを使用して実施する予定である。今回はTARTの会員全員を対象とするので一人一人へQRコードを印刷したハガキを送らせていただくため費用が約15万円かかる。厚生調査委員としても初めての試みとなり、今後の調査方法の検証として考えているのでご了解とご協力をお願いしたい。調査期間は11月1日から12月17日までとなる。各地区に広報のご協力をお願いしたい。

鯉川第13地区委員長：

Web等でできる時代にハガキを一人一人に送る必

要があるのかという意見があった。

江田厚生調査委員長：

一人一人に送ることになった経緯については、昨年にGoogleフォームを使ってアンケート調査を行ったところシリアル番号を振らず一人で何度もアンケートを受けて母数が増えてしまうこともあったのと、会員全員に送って回答率を含めて検証する目的と、また告示研修についての意識調査と広報を行い、意識を高めることを目的にしている。またアンケートを送るのではなく案内を送りGoogleフォームでアンケート調査を行う。

野田監事：

中間監査の日程について26日の予定ですが都合が悪いので会計監査だけでも変更検討をお願いしたい。

鈴木総務委員長：

五役会議で調整する。

浅沼編集委員長：

1月号に掲載予定の新春座談会の編集について10月に原稿を通さないと1月号に間に合わないという動きだったのだが、今年は学会の準備で10月に収録は妥当ではないという判断で会長含め専門部で話し合い、1月号の新春座談会を見送り2月号に新春座談会に代わる座談会の企画をしているのでお待ちいただきたい。

市川(重)学術大会実行委員長：

参加申し込み期限が10月15日までに延長された。JARTのWebマガジンで配信いただく準備もしている。勘違いしているメールが来ているが今回の学会ではライブ配信はないので、企画ものJART、TART、協賛セミナーに関して現場で開催し結果をオンデマンドにして後日11月24日から12月15日まで配信し、一部は学会当日配信していくのでWebでも同等の内容を見ることができるよう参加を勧めていただきたい。Webに関してはワンコインセミナーのコンテンツをアップしていく準備をしている。参加状況は9月末で約1,300名となっている。Webの参加方法が分からないという方もいると思われるが申し込みいただくとIDとパスワードを配布するので、そちらを使って大会のホームページよりアクセスいただくことになる。残り1カ月ですがご協力をお願いしたい。15日の申し込み期限を過ぎるとWebでの申し込みはできないため、当日参加は会場参加のみとなるので早めの事前申込をお願いしたい。

野口庶務委員長：

本人への委嘱状と上長に対しての依頼状を作成中である。Googleのボックスに入れて皆さまにダウンロードしていただく方向で調整しているのでご協力をお願いしたい。

今後の予定について（総務委員会）

今月に中間監査を行う。総務委員で確認を開始しているが、委員会の報告書など提出が失念されているものがあつたら連絡するので、速やかに提出をお願いする。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2021年度

1. 学術研修会	
☆第23回メディカルマネジメント研修会	未定
☆第19回ウインターセミナー Web開催	2022年1月29日(土)
2. 生涯教育	
第71回きめこまかな生涯教育	未定
☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー	
第127回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催	2021年12月8日(水)
第128回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催	2022年1月12日(水)
第129回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催	2022年2月9日(水)
☆4. 第20回東放技・東京部会合同学術講演会	未定
5. 集中講習会	
第13回MRI集中講習会	未定
☆6. 支部研修会	
城北支部研修会 ハイブリッド開催	2021年12月4日(土)
城東・城南・多摩支部研修会	未定
7. 地区研修会	
第13地区研修会 Web開催	2021年12月1日(水)
第9地区研修会 Web開催	2022年2月2日(水)
第12地区研修会 Web開催	2022年2月18日(金)
8. 特別委員会研修会	
第1回災害対策研修会 Web開催	2022年1月28日(金)
9. 地球環境保全活動	
荒川河川敷清掃活動	未定
日暮里駅前清掃活動	未定

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

※2020年度新卒かつ新入会者特別優遇あり、詳しくは本誌「お知らせ」を参照

2021年 東京放射線 総目次

Vol.68 No.790~800

1月号 Vol.68 No.790

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感	会長 篠原健一 4
会告1 第112回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 5
会告2 第113回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 6
会告3 2020年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 7
会告4 第37回日本診療放射線技師学術大会	
第23回アジアオーストラレーシア学術交流大会	
第28回東アジア学術交流大会	8
お知らせ1 2020年度新入会員に対する入会特典について	9
お知らせ2 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 10
お知らせ3 本会ホームページがリニューアルされました	情報委員会 12
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 13
叙 勲 旭日単光章	14
新春企画 2021年新春座談会	16
こ え	
・「診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー」に参加して	森 寛菜 26
・第108回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	福永慎一郎 27
パイプライン	
・第36回日本診療放射線技師学術大会(Web開催)	28
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2020 No.7)	29
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2020 No.8)	30
2020年4月~11月期会員動向	31
2020年度第8回理事会報告	32
Column & Information	
・求人情報	31
・学術講演会・研修会等の開催予定	34
・東放見聞録	35

2月号 Vol.68 No.791

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 東京再開発	副会長 白木 尚 3
会告1 第112回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 4
会告2 第113回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 5
会告3 第114回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 6
会告4 2020年度第5地区研修会&第115回日暮里塾ワンコインセミナー	第5地区委員会・学術委員会 7
会告5 2020年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 8
会告6 第116回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 9
会告7 第117回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 10
会告8 第118回日暮里塾ワンコインセミナー&2021年度城西支部研修会	城西支部委員会・学術委員会 11
会告9 第72回定期総会での表彰(勤続20年)について	渉外委員会 12
会告10 第37回日本診療放射線技師学術大会	
第23回アジア・オーストラレーシア学術交流大会	
第28回東アジア学術交流大会	13

お知らせ1 2020年度第12地区研修会	第12地区委員会 20
お知らせ2 2020年度新入会員に対する入会特典について	21
お知らせ3 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 22
お知らせ4 本会ホームページがリニューアルされました	情報委員会 24
報 告 2019年度学術奨励賞 受賞報告	吉村 良 25
連 載 「消化管造影検査」第3部 X線TV装置の精度管理と性能評価	
第2回 ~身近なものを使ってこんなことができます~	青木 聡 28
こ え	
・第111回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	鮎川幸司 34
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2020 No.9)	35
2020年度第9回理事会報告	36
2020年4月~12月期会員動向	41
Column & Information	
・学術講演会・研修会等の開催予定	39

3月号 Vol.68 No.792

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 信じる	会長 篠原健一 3
会告1 第114回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 4
会告2 2020年度第5地区研修会&第115回日暮里塾ワンコインセミナー	第5地区委員会・学術委員会 5
会告3 2020年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 6
会告4 第116回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 7
会告5 第117回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 8
会告6 第118回日暮里塾ワンコインセミナー&2021年度城西支部研修会	城西支部委員会・学術委員会 9
会告7 第119回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 10
会告8 第37回日本診療放射線技師学術大会	
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会	
第28回東アジア学術交流大会	11
お知らせ1 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 18
お知らせ2 2020年度新入会員に対する入会特典について	20
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 21
報 告 2019年度新人奨励賞 受賞報告	藤田佳名子 22
連 載 「消化管造影検査」第3部 X線TV装置の精度管理と性能評価	
第3回 ~バリウムの付着の良し悪しをデジタル値で評価できるのか~	青木 聡 26
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2021 No.1)	32
2020年4月~2021年1月期会員動向	33
2020年度第10回理事会報告	34
研修会等申込書	39
Column & Information	
・求人情報	31
・会費納入のお願い	33
・東放見聞録	37
・学術講演会・研修会等の開催予定	38

4月号 Vol.68 No.793

巻頭言	リーフログ	会長 篠原健一	2
会告1	第118回日暮里塾ワンコインセミナー&2021年度城西支部研修会	城西支部委員会・学術委員会	3
会告2	第119回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会	4
会告3	第120回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会	5
会告4	2021年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第121・122・124回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	教育委員会	6
会告5	第123回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会	8
会告6	第37回日本診療放射線技師学術大会 第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 第28回東アジア学術交流大会		9
お知らせ1	東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会	16
お知らせ2	会費減額申請方法変更(改正)のお知らせ		18
お知らせ3	2020年度新入会員に対する入会特典について		19
お知らせ4	東放技会員所属地区のご案内	情報委員会	20
連載	「消化管造影検査」第3部 X線TV装置の精度管理と性能評価 第4回 システム面の性能評価でユーザーができることは～	青木 聡	21
パイプライン			
	・日本医用画像管理学会 学術大会(Web開催)		27
	・日本診療放射線技師連盟ニュース(2021 No.2)		28
	2020年4月～2021年2月期会員動向		29
	2020年度第11回理事会報告		30
	研修会等申込書		35

Column & Information

・学術講演会・研修会等の開催予定	33
・東放見聞録	34

5月号 Vol.68 No.794

巻頭言	今だからできること	副会長 麻生智彦	2
会告1	第120回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会	3
会告2	2021年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第121・122・124回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	教育委員会	4
会告3	第123回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会	6
会告4	第37回日本診療放射線技師学術大会 第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 第28回東アジア学術交流大会		7
お知らせ1	東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会	14
お知らせ2	2020年度新入会員に対する入会特典について		16
お知らせ3	東放技会員所属地区のご案内	情報委員会	17
報告	2020年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 アンケート調査結果	厚生調査委員会	18
	2019年度新人奨励賞 受賞報告	城尾 俊	30
連載	「消化管造影検査」第3部 X線TV装置の精度管理と性能評価 第5回 ～透視画像の特徴とデジタル値を用いた画質評価について～	青木 聡	35
パイプライン			
	・日本診療放射線技師連盟ニュース(2021 No.3)		41
	2020年4月～2021年3月期会員動向		42
	2020年度第12回理事会報告		43

研修会等申込書	47
Column & Information	
・求人情報	42
・学術講演会・研修会等の開催予定	46

6月号 Vol.68 No.795

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 いま、わたしができること	副会長 白木 尚 3
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会	4
会告2 第123回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 5
会告3 2021年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第121・122・124回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	教育委員会 6
会告4 第125回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 8
会告5 第69回きめこまかな生涯教育	学術委員会 9
会告6 第37回日本診療放射線技師学術大会 第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 第28回東アジア学術交流大会	10
会告7 2020年度学術奨励賞・新人奨励賞	12
お知らせ1 2020年度新入会員に対する入会特典について	13
お知らせ2 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 14
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 16
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会資料	
報 告 ・2021年度事業計画	17
I. 総括	
II. 定款に基づく本会の事業	
III. 委員会事業計画	
報 告 ・2021年度予算	30
第1号議案 ・2020年度事業報告(案)	32

パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2021 No.4)	57
2021年4月期会員動向	58
2021年度第1回理事会報告	59
研修会等申込書	62
登録事項変更届	63

Column & Information

・東放見聞録	58
・学術講演会・研修会等の開催予定	61

7・8月合併号 Vol.68 No.796

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 合併号に想う	会長 篠原健一 3
会告1 第125回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 4
会告2 第69回きめこまかな生涯教育	学術委員会 5

会告3 第19回サマーセミナー	6
会告4 第37回日本診療放射線技師学術大会	
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会	
第28回東アジア学術交流大会	7
お知らせ1 第6地区meeting 夜会2021	10
お知らせ2 2020年度新入会員に対する入会特典について	11
お知らせ3 東放技 Web開催研修会等受講方法について	12
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	14
投 稿	
夜間・休日の緊急検査の安全管理と教育訓練 アンケート調査結果	15
連 載 [消化管造影検査] 第3部 X線TV装置の精度管理と性能評価	
第6回 ～線量と画質の関係&精度管理の必要性を実例を踏まえて～	25
報 告	
第83回公益社団法人日本診療放射線技師会 定時総会報告	32
こ え	
・合同開催セミナーに参加して	35
・フレッシューズセミナー感想文	36
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.5)	37
2021年4月～5月期会員動向	38
2021年度第2回理事会報告	39
Column & Information	
・求人情報	38
・東放見聞録	42
・学術講演会・研修会等の開催予定	43
9月号 Vol.68 No.797	
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 with/afterコロナ	3
会告1 日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について	4
会告2 第37回日本診療放射線技師学術大会	
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会	
第28回東アジア学術交流大会	5
お知らせ1 東放技 Web開催研修会等受講方法について	8
お知らせ2 2020年度新入会員に対する入会特典について	10
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	11
報 告	
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第72回定期総会(抄)	12
2020年度 特別功労賞・功労賞・労働精励賞(勤続20年表彰)・	
小野賞・地域功労賞 受賞者	19
連 載 [消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ	
第1回 食道精密X線検査	20
こ え	
・「第122回日暮里塾ワンコインセミナー」に参加して	25
・フレッシューズセミナーに参加して	26
2021年4月～6月期会員動向	27
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.6)	28

・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.7)	29
・『経鼻栄養チューブの安全管理をふりかえる』セミナー	30
2021年度第3回理事会報告	32
2021年度第4回理事会報告	35
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39
Column & Information	
・求人情報	27
・東放見聞録	34

10月号 Vol.68 No.798

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 学術大会と社会的責任	3
会告1 第70回きめこまかな生涯教育	4
会告2 第126回日暮里塾ワンコインセミナー	5
会告3 2021年度城北支部研修会	6
お知らせ1 2021年度第13地区研修会	7
お知らせ2 東放技 Web開催研修会等受講方法について	8
お知らせ3 2020年度新入会員に対する入会特典について	10
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	11
連 載 [消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ	
第2回 精密胃X線検査	12
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.8)	19
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	20
2021年4月～8月期会員動向	21
研修会等申込書	23
Column & Information	
・東放見聞録	21
・学術講演会・研修会等の開催予定	22

11月号 Vol.68 No.799

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 マチュピチュに学ぶ情報伝達の重要性【キープとチャスキ】	3
会告1 2021年度城北支部研修会	4
会告2 第127回日暮里塾ワンコインセミナー	5
会告3 第19回ウインターセミナー	6
会告4 2021年度第1回災害対策研修会	7
会告5 第37回日本診療放射線技師学術大会 市民公開講座	8
会告6 2021年アンケート調査「診療放射線技師法改正に関する意識調査」ご協力のお願い	10
お知らせ1 2021年度第13地区研修会	11
お知らせ2 2021年度第12地区研修会	12
お知らせ3 2020年度新入会員に対する入会特典について	13
お知らせ4 東放技 Web開催研修会等受講方法について	14
連 載 [消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ	
第3回 小腸X線造影検査法	16
こ え	
・「第6地区ミーティング 夜会2021」に参加して	21

・第6地区meeting 夜会2021を開催して	伊佐理嘉 22
・第6地区研修会アンケート	23
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.9)	24
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	25
2021年4月～9月期会員動向	26
2021年度第5回理事会報告	27
———— Column & Information ————	
・求人情報	26
・東放見聞録	30
・学術講演会・研修会等の開催予定	31

12月号 Vol.68 No.800

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 <small>のりこ</small> 矩を踏えず	会長 篠原健一 3
告示1 2022・2023年度代議員及び予備代議員の立候補受付 について	選挙管理委員会 4
会告1 2021年度城北支部研修会	城北支部委員会 8
会告2 第127回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 9
会告3 第128回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 10
会告4 第19回ウインターセミナー	学術委員会 11

会告5 2021年度第1回災害対策研修会	SR推進委員会 12
会告6 第129回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 13
会告7 2021年アンケート調査「診療放射線技師法改正に関する 意識調査」ご協力のお願い	厚生調査委員会 14
お知らせ1 2021年度第9地区研修会	第9地区委員会 15
お知らせ2 2021年度第12地区研修会	第12地区委員会 16
お知らせ3 2020年度新入会員に対する入会特典について	17
お知らせ4 東放技 Web開催研修会等受講方法について…学術委員会	18
お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 20
連載 [消化管造影検査] 第4部 消化管精密検査シリーズ 第4回 注腸X線造影検査—炎症性疾患を中心に—	… 鷗沼清仁 21
パイプライン	

・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.10)	27
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	28
2021年4月～10月期会員動向	29
2021年度第6回理事会報告	30
2021年東京放射線総目次	34
研修会等申込書	39
———— Column & Information ————	
・学術講演会・研修会等の開催予定	33
・東放見聞録	38

東京放見聞録

外出の自粛を思い返して

昨年・今年とコロナ禍の緊急事態宣言により、外出を伴う行動に制限がかかって久しいですが、ここに来てようやく制限も解除され希望の兆しが見えてきました。思い返すと出かけたくても出かけられない状況でしたが、自分の中では悪いことばかりではなかったと感じています。

外出の自粛が出る前は、休日には子どもをつれて出かけることが多く、近くに住む両親が兼業で農業をしていましたが、手伝いに行くのは月に一度程度でした。実家の畑は農業を使用していないため、夏になるといたるところから雑草が生えてくるので両親二人だけでは草むしりが追いついていませんでした。そんな状況を横目で見つつも休日には出かけることを優先していました。

外出制限が世に出てから休日に行ける場所もなくなってしまい、家の中で一日中もっていることもできないので実家の畑に子どもを連れて行くようになりました。子どもたちは虫をつかまえたり、泥いじりをしたり楽しんで遊んでくれていました。そんな子どもたちと遊びつつ畑の草むしりの手伝いをしていました。昨年は行くたびに草が伸びているので草むしりばかりしていたため野菜の手入れまで手が回りませんでした。頻繁に通っていたこともあり野菜の成長を間近で見ることができました。

自然農法(?)で育っている野菜は枝や蔓が四方八方に伸びていて、実をつけても収穫しづらかったり、日当たりや風通しの悪いところがありました。そんな状況をどうにかしたいと、今年は夏野菜を作る前に野菜の栽培に関する下調べを本やネットでしました。ネットでは農チューバーなる方々が発信している動画がたくさんあり重宝しました。

それらを参考に以下の3点を試すことにしました。

- ① 雑草を抑制するためのシートを使用
- ② 芽かきや剪定による枝・蔓の整理
- ③ 虫の駆除

これらをトマト・ピーマン・きゅうりに試しました。

雑草を抑制するシートを使用することで雑草が生えにくくなり、草むしりをする時間が減り野菜に手をかける時間を捻出させることができました。できた時間を芽かきや剪定する時間に充てることができましたので、去年は森のような様相を呈していた野菜たちも、今年は傍から見ても整っている状態にすることができました。虫(コガネムシやカメムシ)の駆除も朝の日課として虫捕りをしていたので、実の汁を吸われた痕もほとんどなく良い実がたくさん採れました。この虫は草むしりをしている時によく見かけていたカブトムシの幼虫を小さくしたような虫であることも分かり、今後は幼虫の段階で虫対策ができたらと考えています。

子どもたちも収穫以外に草むしりなどの手伝いもしてくれていたもので、自分で育てた野菜という気持ちもあってか、できた野菜をたくさん食べてくれました。来年は、畑の環境により合わせたかたちでの野菜作りができそうです。みんなでおいしい野菜を作ろうという目標を持つことができ、手をかけて育ててきた野菜だからこそ食べて得られる感動も味わえ、なおかつ適度な運動にもなりました。

今まで時間がないからと心の中で言い訳してやってこなかったことも、それに目を向けて行動する良い機会を持つことができたのではないかと感じています。

悪い環境・状況になってしまっても「外出規制があるから何もできない」ではなく視点や行動を少し変えて「今の環境で何ができるか」を考えると、今まで目がいかなかったことに目がいくようになり、自分の中で新しい感性が生まれたことを実感しました。

今後、コロナに限らず困った状況になった場合、困ったことに固執せずに何ができるかを考え、良い方向に転換できたらと思いました。

週末農業オヤジ

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	令和 年 月 日() ～ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

今年はコロナ禍でなかなか外出ができず、家で過ごすことが多かったのですが、家庭菜園を始めてみました。水をあまりあげなくても簡単に育ちそうなミニトマトと、野菜が高かったのでナスとピーマンを植えてみました。ミニトマトは予想通り手入れもあまりせずにどんどん大きくなり、それなりに収穫ができました。ただ途中の剪定を怠ったため、気づけば葉だけのジャングルのようになり、最終的に剪定しすぎて枯らすという結末に…。

ナスとピーマンはというと、こちらはどうかや葉を虫が好むらしく、害虫と闘う日々でした。最初はこまめに観察し害虫を駆除したり、葉の裏についた卵をガムテープで取り除くなど根気よく対処していたので、ピーマンをメインにそれなりの収穫はありましたが、最終的には根気負けしてほぼ葉を食べ尽くされてしまいました。特にナスの葉は人気で、寄ってくる虫もさまざまでした。アブラムシやヨトウムシ、

ハエモグリバエにテントウムシダマシなど。今年は手軽にと始めたのでネットも張らずにそのまま育てたため、害虫の侵入も簡単に許してしまいました。日当たりと風通しをよくするなどして、野菜を元気に育てることで害虫対策になるようなので、来年はもう少し準備をしっかりして手間暇かけて育ててみようと思います。

B.F.S



■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
光製薬(株)

東京放射線 第68巻 第11号

令和3年11月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和3年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一